

令和4年度第1回沖縄県ハンセン病問題解決推進協議会 議事概要

1 日 時： 令和4年9月5日（月）11時30分～13時30分

2 場 所： 県庁6階第2特別会議室

3 出席者

- ・神谷 正和 委員（沖縄ハンセン病回復者の会 共同代表）
 - ・沖縄愛楽園自治会 委員（氏名非公表）
 - ・知念 正勝 委員（宮古南静園入所者自治会 連絡員代行）
 - ・ハンセン病回復者家族 委員（氏名非公表）
 - ・野村 謙 委員（沖縄愛楽園 園長） ・知念 一 委員（宮古南静園 園長）
 - ・神谷 征子 委員（ハンセン病問題ネットワーク沖縄 事務局長）
 - ・亀濱 玲子 委員（ハンセン病と人権市民ネットワーク宮古 共同代表）
 - ・小渡 有明 委員（公益財団法人沖縄県ゆうな協会 理事長）
 - ・樋口 美智子 委員（沖縄県ソーシャルワーカー協議会）
 - ・森川 恭剛 委員（琉球大学人文社会学部 教授）※会長
 - ・神谷 誠人 委員（沖縄弁護士会）
 - ・桃原 健次（教育庁県立学校教育課 普通教育班長）※代理出席
 - ・新里 逸子 委員（保健医療部地域保健課長）
- 〈オブザーバー等〉
- ・辻 央（沖縄愛楽園交流会館 学芸員） ・岩倉 慎（厚生労働省健康局難病対策課 課長補佐）
 - ・比嘉 陽子（法務省那覇地方法務局人権擁護課長） ・糸数 公（保健医療部長）

※欠席者

- ・平良 仁雄 委員（沖縄ハンセン病回復者の会 共同代表）

4 議題

- (1) 開会挨拶（玉城知事）※代読 池田副知事
- (2) 自己紹介
- (3) 会長選出
- (4) 各団体等のハンセン病問題に関する取組の報告、意見交換
（①ハンセン病問題の啓発 ②ハンセン病回復者等の福祉の増進）

5 議事概要

- (1) 開会挨拶
 - ▶ 池田副知事挨拶
 - ▶ ハンセン病回復者のコメント
 - ・県がハンセン病回復者の声をしっかりと受けとめ、県が主体となって、ハンセ

ン病問題の解決に取り込む姿勢を感じることができた。

- ・高齢化、不自由化が進む中、さらに離島で生活する回復者は、支援が行き届いていないため、生活支援の仕組構築に取り組む必要がある。

- ・家族の課題についても、現況調査をしていただきたい。

- ・国によるハンセン病隔離政策と、沖縄県における無らい県運動の検証を求めたい。

- ・ハンセン病問題の啓発について、学校教育や医療・介護関係者への取組拡充、歴史資料館の活用と支援、平和記念資料館へのハンセン病問題の展示など、広く県民への啓発事業を前進させていただきたい。

(2) 自己紹介

(3) 会長選出

- ▶ 森川恭剛委員を会長に選出。

(4) 各団体等のハンセン病問題に関する取組

- ▶ 各団体等から、①ハンセン病問題の啓発、②ハンセン病回復者等の福祉の増進について取組を報告。

▶ 意見交換

- ・離島の回復者まで、地域で暮らし続けるための支援体制が行き届いていない。療養所やゆうな協会に繋がっていない回復者の実態を把握し、回復者や家族の方の視点に立った支援体制を整える必要がある。

- ・介護や医療支援を受けるため、ハンセン病の後遺症による不自由さを介護認定に反映させる仕組みが必要。

- ・回復者の高齢化が深刻な状況なので、作業部会を設置して検討を進め、協議会は年に複数回開催してほしい。

- ・回復者家族の体験を伝える機会を設け、学校教育での啓発を強化してほしい。